年金受取総額保証付変額個人年金保険GF

マリンウェイブ
2016年度（平成28年度）特別勘定の現況

●投資環境（2016年度）

日本株式市場

日経平均株価は、期初16,758円で始まりました。4～6月は、円高進行による企業業績の悪化懸念から軟調に推移し、6月の英・国民投票でEU離脱派が勝利すると、同株価は一時14,952円まで下落しました。その後は、円高の一服や堅調な海外株式市場を背景に、同株価はやや持ち直しました。11月の米大統領選挙でトランプ氏が勝利すると、積極的な財政政策への期待からグローバルにリスク選好的な姿勢が強まり、外国為替市場で円安ドル高が進行したことにも支えられ、同株価は19,000円台まで上昇しました。1～3月では、同株価は高値圏で概ね横ばい推移となりました。期末の日経平均株価は18,909円でした。

外国株式市場

米国のS&P500は、期初2,059で始まりました。6月の英・国民投票でEU離脱派が勝利すると、同株価は一時2,000まで下落しました。但し、底堅い企業業績に支えられ株価の戻りも早く、7～10月は概ね2,100～2,200のレンジで推移しました。11～3月は、米・大統領選でトランプ氏が勝利し、経済政策への期待が高まったことから、同株価は3月に2,395まで上昇、期末のS&P500は2,362でした。
また、英国のFTSE100は、期初6,174で始まりました。6月までは概ね横ばいで推移しましたが、英・国民投票でEU離脱派が勝利し、ポンド安が進行したことを好感し、株価は上昇しました。11月以降はグローバルにリスク選好的な動きとなったことにも支えられ、株価は3月には7,429まで上昇、期末のFTSE100は7,322でした。

日本債券市場

10年国債利回りは、期初−0.03%で始まりました。4～7月は良好な需給環境に加え、日銀の追加緩和期待から同利回りは7月に−0.29%まで低下しました。同月、日銀は国債買入れ増額やマイナス金利深掘りを見送ったため、8月に同利回りは−0.04%まで上昇しました。9月に日銀が長短金利操作付き量的・質的金融緩和政策を導入し、10年国債利回りをゼロ%程度に誘導する方針を示したため、同利回りは10月まで概ね−0.05%程度で概ね横ばい推移となりました。11月の米・大統領選でトランプ氏が勝利して以降、米長期金利が大幅に上昇したことや、日銀の国債買入れオペを巡る不透明感から、同利回りは2月に0.12%まで上昇しました。但し、日銀は指値オペにより更なる金利上昇を容認しない姿勢を示したため、同利回りは低下に転じ、期末の10年国債利回りは0.07%でした。

外国債券市場

米10年国債利回りは、期初1.77%で始まりました。英・国民投票でのEU離脱派の勝利をうけて、同利回りは7月上旬に1.36%まで低下しました。11月に米・大統領選でトランプ氏が勝利すると、積極的な財政政策への期待が高まり、米国経済の加速や米FRBの利上げペースの早まりが意識され、同利回りは3月に2.63%まで上昇しました。その後は、トランプ大統領の政策への不透明感から同利回りはやや低下し、期末の米10年国債利回りは2.41%でした。
また、ドイツ10年国債利回りは、期初0.15%で始まりました。ECBの金融緩和が長期化するなか、英・国民投票でEU離脱派が勝利すると、同利回りは−0.19%まで低下しました。10～12月は、欧州経済の回復や、米大統領選後のグローバルな金利上昇をうけ、同利回りは12月に0.40%まで上昇しました。1～3月は、仏大統領選を巡る不透明感や、ECBの金融緩和姿勢を巡る思惑から、金利は上下する局面もありましたが、期末のドイツ10年国債利回りは、0.33%でした。

外国為替市場

ドル円相場は、期初1米ドル＝112.50円で始まりました。4月の日銀の追加緩和見送りや6月の英・国民投票でのEU離脱派の勝利をうけ、8月には1米ドル＝100円程度まで円高ドル安が進みました。11月の米・大統領選でトランプ氏が勝利すると、12月には118円程度まで円安ドル高が進みました。但し、1～3月は、トランプ大統領の政策への不透明感からやや円高ドル安傾向となり、期末は1米ドル＝111.89円でした。
また、ユーロ円相場は、期初1ユーロ＝128.04円で始まりました。英・国民投票でEU離脱派が勝利すると、欧州の政治・経済への懸念から7月には111円程度まで円高ユーロ安が進みました。11月以降は、米・大統領選でトランプ氏が勝利したことをうけてリスク選好的な動きとなり、12月には123円程度まで円安ユーロ高が進行しました。1月以降は、欧州政治リスクへの懸念からやや円高・ユーロ安傾向となり、期末は1ユーロ＝119.47円でした。

●運用実績の推移および運用方針

①当期の運用実績の推移	各特別勘定の運用状況をご参照ください。
②当期の運用方針	当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。
③今後の運用方針	当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

当社は2016年度決算（決算日：2017年3月31日）を行いました。当資料は2016年度の運用状況をご報告するものです。
3ページ以降は特別勘定レポート（2017年4月発行（2017年3月末現在））からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。

B1705010-000

●特別勘定資産の内訳（2016年度末）

（単位：百万円）

区分	金額	
	世界バランス40ST	世界バランス50ST
現預金・コールローン	79	53
有価証券	1,469	1,078
公社債	−	−
株式	−	−
外国証券	−	−
公社債	−	−
株式等	−	−
その他の証券	1,469	1,078
貸付金	−	−
その他	16	11
貸倒引当金	−	−
合計	1,566	1,143

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況（2016年度）

（単位：百万円）

区分	金額	
	世界バランス40ST	世界バランス50ST
利息配当金等収入	447	511
有価証券売却益	−	−
有価証券償還益	−	−
有価証券評価益	349	280
為替差益	−	−
金融派生商品収益	−	−
その他の収益	−	−
有価証券売却損	−	−
有価証券償還損	−	−
有価証券評価損	741	713
為替差損	−	−
金融派生商品費用	−	−
その他の費用及び損失	−	−
収支差額	54	78

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況（2016年度）

（単位：千口、千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界バランス40ST	新光外国株式インデックスVA	16,942	25,817	262,115	291,818
	新光日本債券インデックスVA	51,039	61,857	436,982	467,856
	TMA日本株式インデックスVA＊	21,494	26,300	340,614	359,389
	TMA外国債券インデックスVA＊	33,634	46,300	407,475	457,046
世界バランス50ST	新光外国株式インデックスVA	21,636	32,970	408,140	453,830
	新光日本債券インデックスVA	43,805	53,096	460,384	495,271
	TMA日本株式インデックスVA＊	13,342	16,300	346,414	368,172
	TMA外国債券インデックスVA＊	17,884	24,600	289,946	324,960

※単位未満切捨て
＊適格機関投資家限定

●保有契約高（2016年度末）

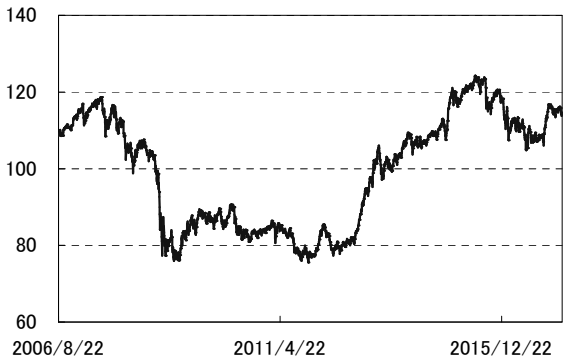
（単位：件、百万円）

項目	件数	金額
年金受取総額保証付変額個人年金保険GF　マリンウェイブ	647	2,770

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用状況　ユニットプライスの推移と期間収益率（2016年度末）

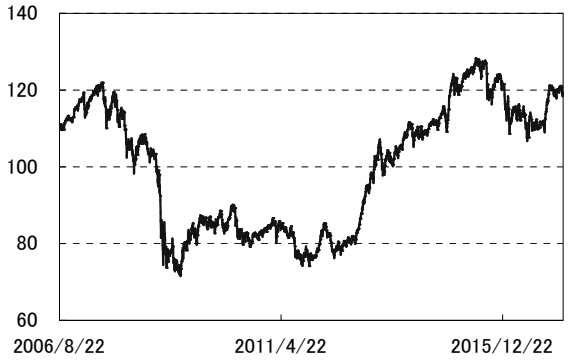
世界バランス40ST



ユニットプライス 2017年3月末現在	114.61

期間収益率	1か月	3か月	6か月	1年
	−0.19%	−1.03%	6.65%	1.31%

世界バランス50ST



ユニットプライス 2017年3月末現在	119.43

期間収益率	1か月	3か月	6か月	1年
	−0.09%	−0.49%	8.34%	3.25%

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
※ユニットプライス（単位価格）とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

特別勘定の内容

目標値110%または120%の場合の特別勘定

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	資産運用関係費用（年率）(注)
総合型	世界バランス40ST	新光外国株式インデックスVA	アセットマネジメントOne株式会社＊2	0.324%（税抜0.3%）程度
		新光日本債券インデックスVA		
		TMA日本株式インデックスVA＊1	東京海上アセットマネジメント	
		TMA外国債券インデックスVA＊1		

＊1 適格機関投資家限定
＊2 2016年10月1日付けで、特別勘定の主な投資対象である投資信託の運用会社「新光投信株式会社」は、「みずほ信託銀行株式会社」の資産運用部門、「みずほ投信投資顧問株式会社」、及び「DIAMアセットマネジメント株式会社」と統合し、「アセットマネジメントOne株式会社」となりました。

目標値130%、140%または150%の場合の特別勘定

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	資産運用関係費用（年率）(注)
総合型	世界バランス50ST	新光外国株式インデックスVA	アセットマネジメントOne株式会社＊2	0.324%（税抜0.3%）程度
		新光日本債券インデックスVA		
		TMA日本株式インデックスVA＊1	東京海上アセットマネジメント	
		TMA外国債券インデックスVA＊1		

＊1 適格機関投資家限定
＊2 2016年10月1日付けで、特別勘定の主な投資対象である投資信託の運用会社「新光投信株式会社」は、「みずほ信託銀行株式会社」の資産運用部門、「みずほ投信投資顧問株式会社」、及び「DIAMアセットマネジメント株式会社」と統合し、「アセットマネジメントOne株式会社」となりました。

（注）資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

特別勘定の名称	運用方針
世界バランス40ST	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式20%、外国株式20%、日本債券（短期金融資産を含む）30%、外国債券30%です。
世界バランス50ST	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式20%、外国株式30%、日本債券（短期金融資産を含む）30%、外国債券20%です。

特別勘定の純資産総額の内訳

2017年3月末現在

特別勘定の名称	運用資産 株式 日本	運用資産 株式 外国	運用資産 債券 日本	運用資産 債券 外国	投資対象となる投資信託	運用会社	資産配分 資産額（百万円）	資産配分 配分	純資産総額（百万円）
世界バランス40ST		●			新光外国株式インデックスVA	アセットマネジメントOne株式会社＊2	314	20.3%	1,554
			●		新光日本債券インデックスVA		386	24.9%	
	●				TMA日本株式インデックスVA＊1	東京海上アセットマネジメント	303	19.5%	
				●	TMA外国債券インデックスVA＊1		465	30.0%	
					現預金その他	―	84	5.4%	
世界バランス50ST		●			新光外国株式インデックスVA	アセットマネジメントOne株式会社＊2	345	30.4%	1,137
			●		新光日本債券インデックスVA		283	24.9%	
	●				TMA日本株式インデックスVA＊1	東京海上アセットマネジメント	222	19.5%	
				●	TMA外国債券インデックスVA＊1		227	20.0%	
					現預金その他	―	59	5.2%	

＊1 適格機関投資家限定
＊2 2016年10月1日付けで、特別勘定の主な投資対象である投資信託の運用会社「新光投信株式会社」は、「みずほ信託銀行株式会社」の資産運用部門、「みずほ投信投資顧問株式会社」、及び「DIAMアセットマネジメント株式会社」と統合し、「アセットマネジメントOne株式会社」となりました。

組入れ投資信託の運用状況　　2017年3月末現在

【特別勘定名】	【特別勘定が利用するファンド名：外国株式】
世界バランス40ST 世界バランス50ST	新光外国株式インデックスVA

- マリンウェイブ（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
  また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

■ 組入れ投資信託名：　新光外国株式インデックスVA

■ 投資信託委託会社：　アセットマネジメントOne株式会社

■ 組入れ投資信託の運用方針：主として新光外国株式インデックスマザーファンド受益証券に投資し、MSCIコクサイ・インデックス（円ベース）の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

■ ベンチマーク：　MSCIコクサイ・インデックス（円ベース）

■基準価額、純資産総額

基準価額	19,580円
純資産総額	2,567百万円

■資産構成

	比率(%)
現物等組入比率	97.6
コール等	2.4
先物等組入比率	0.1
実質株式組入比率	97.7

*資産構成は実質組入れ比率です。

■騰落率(基準価額ベース、分配金込み)

	1ヵ月間	設定来
当ファンド	0.93%	97.26%
ベンチマーク	0.54%	104.76%

※設定来の騰落率は、設定日前日を基準に数値を算出しています。

■基準価額の推移グラフ

※ベンチマークは「MSCIコクサイ・インデックス（円ベース）」で、上記グラフ上、ベンチマークは設定日の前日を10,000として指数化しております（設定日：2005年8月16日）。 ※「MSCIコクサイ・インデックス（円ベース）」に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はモルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社に帰属します。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万口当たりで、信託報酬控除後のものです。

■株式組入上位10業種(単位：%)

	業種	ﾌｧﾝﾄﾞのｳｪｲﾄ	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸのｳｪｲﾄ
1	銀行	9.43	9.67
2	ソフトウェア・サービス	9.04	9.28
3	医薬品・ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ・ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	8.51	8.72
4	資本財	7.31	7.46
5	エネルギー	6.92	7.10
6	食品・飲料・タバコ	5.76	5.92
7	素材	4.84	4.94
8	各種金融	4.19	4.34
9	保険	4.10	4.16
10	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.91	4.01

*ファンドのウェイトとは、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。
*業種は、世界産業分類基準（GICS）です。

■株式組入上位10銘柄(単位：%)

（組入銘柄数：1330）

	銘柄名	ﾌｧﾝﾄﾞのｳｪｲﾄ	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸのｳｪｲﾄ
1	APPLE INC	2.30	2.35
2	MICROSOFT CORP	1.45	1.49
3	AMAZON.COM INC	1.06	1.09
4	EXXON MOBIL CORP	1.04	1.06
5	JOHNSON & JOHNSON	1.01	1.04
6	FACEBOOK INC-A	1.00	1.02
7	JPMORGAN CHASE & CO	0.95	0.98
8	WELLS FARGO & COMPANY	0.80	0.82
9	GENERAL ELECTRIC CO(US)	0.79	0.81
10	ALPHABET INC-CL C	0.77	0.79

*ファンドのウェイトとは、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

注）当資料は信頼できると思われる情報に基づきアセットマネジメントOne株式会社により作成されていますが、アセットマネジメントOne株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

【特別勘定名】	【特別勘定が利用するファンド名：日本債券】
世界バランス40ST 世界バランス50ST	新光日本債券インデックスVA

- マリンウェイブ（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
  また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

■ 組入れ投資信託名：　新光日本債券インデックスVA

■ 投資信託委託会社：　アセットマネジメントOne株式会社

■ 組入れ投資信託の運用方針：　主として新光日本債券インデックスマザーファンド受益証券に投資し、NOMURA-BPI 総合の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

■ ベンチマーク：　NOMURA-BPI 総合

■基準価額、純資産総額

基　準　価　額	11,986円
純　資　産　総　額	669百万円

■資産構成

	比率(%)
実質株式組入比率	0.0
実質公社債組入比率	99.5
うち国債	83.1
実質CP組入比率	0.0
コール等	0.5

*資産構成は実質組入れ比率です。

■騰落率(基準価額ベース、分配金込み)

	1ヵ月間	設定来
当ファンド	-0.17%	21.08%
ベンチマーク	-0.11%	26.75%

※設定来の騰落率は、設定日前日を基準に数値を算出しています。

■基準価額の推移グラフ

※ベンチマークは「NOMURA-BPI 総合」で、上記グラフ上、ベンチマークは設定日の前日を10,000として指数化しております（設定日：2005年8月16日）。 ※「NOMURA-BPI 総合」に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万口当たりで、信託報酬控除後のものです。

■組入債券上位銘柄(単位：%)

（組入銘柄数 ： 200）

	銘柄	クーポン	償還日	額面	評価額	組入比率(%)	残存年数
1	第１１６回利付国債（５年）	0.2%	2018/12/20	210,000,000	211,587,600	1.46	1.723
2	第３１３回利付国債（１０年）	1.3%	2021/03/20	170,000,000	179,815,800	1.24	3.970
3	第３１５回利付国債（１０年）	1.2%	2021/06/20	170,000,000	179,649,200	1.24	4.222
4	第３３５回利付国債（１０年）	0.5%	2024/09/20	170,000,000	176,738,800	1.22	7.474
5	第１１４回利付国債（５年）	0.3%	2018/09/20	170,000,000	171,346,400	1.18	1.474
6	第３０８回利付国債（１０年）	1.3%	2020/06/20	160,000,000	167,566,400	1.16	3.222
7	第３３４回利付国債（１０年）	0.6%	2024/06/20	160,000,000	167,465,600	1.16	7.222
8	第３３８回利付国債（１０年）	0.4%	2025/03/20	160,000,000	165,224,000	1.14	7.970
9	第１２３回利付国債（５年）	0.1%	2020/03/20	160,000,000	161,331,200	1.11	2.970
10	第１１７回利付国債（５年）	0.2%	2019/03/20	160,000,000	161,305,600	1.11	1.970

※上記の組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

注）当資料は信頼できると思われる情報に基づきアセットマネジメントOne株式会社により作成されていますが、アセットマネジメントOne株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

【特別勘定名】
世界バランス40ST
世界バランス50ST

【特別勘定が利用するファンド名：日本株式】

TMA日本株式インデックスVA＜適格機関投資家限定＞

- マリンウェイブ（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- 当該投資信託は、適格機関投資家専用に設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

■ 組入投資信託名：　TMA日本株式インデックスVA<適格機関投資家限定>

■ 投資信託委託会社：　東京海上アセットマネジメント株式会社

■ 組入投資信託の運用方針：　TOPIXに連動する投資成果の達成を目標とし、主として同じ目標で運用を行う「TMA日本株TOPIXマザーファンド受益証券」（以下「マザーファンド受益証券」といいます。）に投資します。

■ ベンチマーク：　TOPIX

■ 基準価額、純資産総額

基準価額	14,696円
純資産総額	14,416 百万円

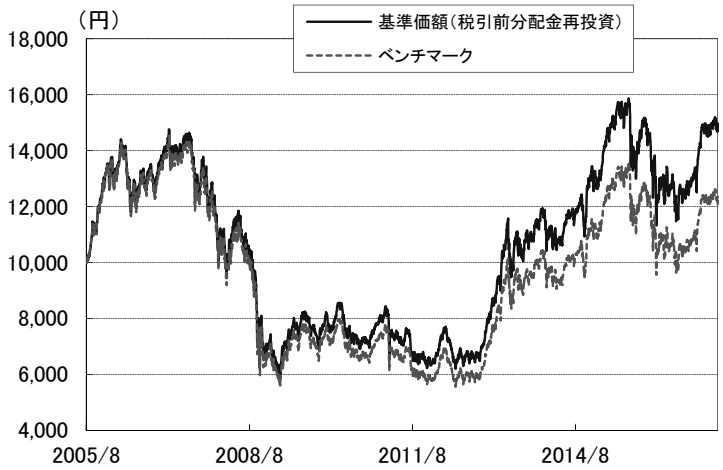
■ 資産構成

	比率（%）
実質組入比率	100.1
内現物等組入比率	96.5
内先物等組入比率	3.6
現金等比率	−0.1

■ 騰落率（税引前分配金再投資、%）

	直近1カ月	直近6カ月
当ファンド	−0.65	+15.51
ベンチマーク	−1.48	+14.35

■ 基準価額の推移グラフ（税引前分配金再投資）



※ベンチマークはTOPIXで、上記グラフ上、ベンチマークは設定日の前日を10,000円として指数化しております（設定日：2005年8月18日）。 ※TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万口当たりで、信託報酬控除後のものです。

出所：ブルームバーグ

■ 組入上位10銘柄等

組入上位10銘柄　（組入銘柄数：1117銘柄）

No	銘柄	業種名	比率（%）
1	トヨタ自動車	自動車	3.21
2	三菱UFJ FG	銀行	2.29
3	日本電信電話	通信	1.64
4	ソフトバンクグループ	通信	1.53
5	三井住友 FG	銀行	1.40
6	本田技研工業	自動車	1.32
7	KDDI	通信	1.25
8	みずほ FG	銀行	1.19
9	ソニー	民生用ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ	1.16
10	ファナック	機械	1.01

組入上位10業種

No	業種名	比率（%）
1	自動車	9.68
2	銀行	7.84
3	産業用ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ	7.40
4	基礎素材	6.75
5	機械	6.60
6	医薬品・ヘルスケア	5.86
7	建設・住宅・不動産	5.57
8	通信	5.29
9	運輸	5.12
10	各種金融	4.96

※組入上位10銘柄・組入上位10業種はマザーファンド（TMA日本株TOPIXマザーファンド）ベースです。※業種名は弊社独自の21業種分類です。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。※株式（現物）には、新株予約権証券を含む場合があります。

注）当資料は信頼できると思われる情報に基づき東京海上アセットマネジメントにより作成されていますが、東京海上アセットマネジメントはその正確性、完全性を保証するものではありません。

【特別勘定名】
世界バランス40ST
世界バランス50ST

【特別勘定が利用するファンド名：外国債券】

TMA外国債券インデックスVA＜適格機関投資家限定＞

- マリンウェイブ（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- 当該投資信託は、適格機関投資家専用に設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

■ 組入投資信託名：　TMA外国債券インデックスVA<適格機関投資家限定>

■ 投資信託委託会社：　東京海上アセットマネジメント株式会社

■ 組入投資信託の運用方針：　シティ世界国債インデックス（除く日本/円ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目標とし、主として同じ目標で運用を行う「TMA外国債券インデックスマザーファンド受益証券」（以下「マザーファンド受益証券」といいます。）に投資します。

■ ベンチマーク：　シティ世界国債インデックス（除く日本/円ヘッジなし・円ベース）

■ 基準価額、純資産総額

基準価額	14,087円
純資産総額	21,336 百万円

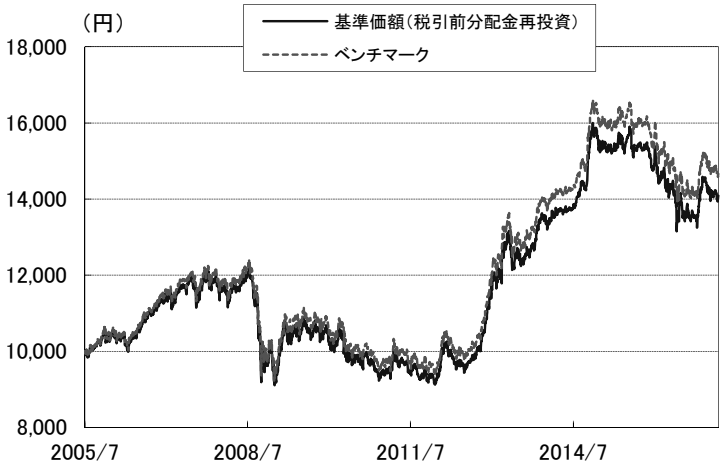
■ 資産構成

	比率(%)
実質組入比率	98.7
内現物等組入比率	98.7
内先物等組入比率	−
現金等比率	1.3

■ 騰落率（税引前分配金再投資、%）

	直近1カ月	直近6カ月
当ファンド	−0.01	+4.22
ベンチマーク	−0.33	+3.18

■ 基準価額の推移グラフ（税引前分配金再投資）



※ベンチマークはシティ世界国債インデックス（除く日本/円ヘッジなし・円ベース）で、上記グラフ上、ベンチマークは設定日を10,000円として指数化しております（設定日：2005年7月29日）。※シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万口当たりで、信託報酬控除後のものです。

出所：ブルームバーグ

■ 組入上位10銘柄等

組入上位10銘柄　（組入銘柄数：399銘柄）

No	銘柄	利率（%）	償還日	通貨	比率（%）
1	米国債	1.750	2023/05/15	米ドル	1.28
2	米国債	1.625	2019/03/31	米ドル	1.08
3	米国債	1.375	2018/09/30	米ドル	1.08
4	米国債	3.750	2018/11/15	米ドル	0.96
5	米国債	1.250	2018/11/30	米ドル	0.92
6	米国債	2.750	2019/02/15	米ドル	0.88
7	米国債	2.625	2020/11/15	米ドル	0.87
8	米国債	2.000	2023/02/15	米ドル	0.87
9	米国債	3.125	2019/05/15	米ドル	0.80
10	米国債	2.125	2021/08/15	米ドル	0.78

通貨別比率（組入上位5通貨）

通貨	比率（%）
米ドル	43.97
ユーロ	38.76
英ポンド	7.21
オーストラリア・ドル	2.07
カナダ・ドル	2.07

ポートフォリオの状況

平均最終利回り（複利、%）	1.44
平均クーポン（%）	3.25
平均残存期間（年）	8.94
平均修正デュレーション	6.93

※組入上位10銘柄・通貨別比率・ポートフォリオの状況はマザーファンド（TMA外国債券インデックスマザーファンド）ベースです。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

注）当資料は信頼できると思われる情報に基づき東京海上アセットマネジメントにより作成されていますが、東京海上アセットマネジメントはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「契約初期費用」、「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります（ただし、目標値の変更により積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には、別途「積立金移転費用」がかかりますのでご注意ください）。

	項　目	内　容	費　用	備　考（適用時期等）
ご契約時	契約初期費用	当保険の新契約成立等のために必要な費用	一時払保険料の**4**%	特別勘定への繰入前に一時払保険料から控除します。
運用期間中	保険関係費用 （保険契約管理費）	当保険の維持管理等に必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して 年率**2.55**%	特別勘定の純資産総額に対して年率2.55%／365日を乗じた額を毎日控除します。
	資産運用関係費用* （資産運用管理費）	特別勘定の運用に係る費用	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して 年率**0.324**%程度（税抜0.3%程度）	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して年率0.324%程度／365日を乗じた額を毎日控除します。
	積立金移転費用	1保険年度に12回を超える積立金の移転の際	1保険年度13回以上の移転の際 ：一回につき**1,000**円	移転時に積立金から控除します。
年金支払期間中	保険関係費用 （年金管理費）	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して**1.0**%以内	年金支払開始日以降、年1回の年金支払日に責任準備金から控除します。

＊資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。
したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。
なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

投資リスクについて

この商品はご契約者から払い込まれた一時払保険料を積立金として特別勘定で運用します。この商品の特別勘定は国内外の株式および債券等の各資産を主要投資対象とする投資信託等に投資することにより運用を行います。この商品では、特別勘定の運用実績が将来お受け取りになる年金額・解約払戻金額・死亡保険金額等の変動（増減）につながるため、高い収益性が期待できる反面、投資の対象となる株価や債券価格等が下落した場合には積立金額も下落します。

また、外国株式や外国債券を投資対象としている場合は為替相場の影響を受けますので、為替相場の変動により積立金額が下落する場合があります。その結果、解約払戻金額・年金原資等が払込保険料総額を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。これらのリスクはご契約者に帰属することになりますので十分ご注意ください。

目標値の変更により積立金の移転が生じた際には、特別勘定の種類によっては投資リスクが異なることとなりますのでご注意ください。

ご注意いただきたい事項

■「マリンウェイブ（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。

■「マリンウェイブ（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも年金受取総額で基本保険金額の100%を最低保証します。ただし、年金の受取方法は確定年金（年金支払期間15年）のみとなり、一括受取を希望される場合は基本保険金額の90%を最低保証します。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】
みずほ証券株式会社

【引受保険会社】
東京海上日動あんしん生命保険株式会社
ホームページ http://www.tmn-anshin.co.jp

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ
0120-155-730
受付時間　月～金／9:00～17:00
（祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。）

100401